

---

## 「高齢者髄膜腫の外科治療」に関するお知らせ

---

このたび、当院で手術を行った患者さんの診療データを用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学国際医療センター 臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

### 研究の概要について

#### 1. 研究の対象となる方

2014年1月1日から2023年12月31日の期間に埼玉医科大学国際医療センターを受診し、髄膜腫と診断され、摘出手術を実施した患者さんを対象としております。

#### 2. 研究の目的

髄膜腫は全ての原発性頭蓋内腫瘍の3分の1以上を占める一般的な疾患です。平均寿命の延長と画像診断機器の使用頻度増加によって、高齢者髄膜腫の発見率は増加傾向にあります。手術が治療の中心ですが、基礎疾患を有する高齢患者さんに対する手術は全身状態悪化のリスクがあり、高齢髄膜腫患者さんに対する手術加療についてのメリットやデメリットはまだ詳しく分かっていません。今回の研究の目的は当院で手術を行なった高齢髄膜腫患者さんの診療データを基に手術のメリットやデメリットを明確にすることです。

#### 3. 研究期間

病院長の許可後～2025年3月31日

#### 4. 利用または提供の開始予定日 研究実施開始日より1ヶ月後程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

### 研究に用いる試料・情報について

#### 1. 試料・情報の内容

カルテの情報をもとに患者さんの年齢や性別、基礎疾患・神経症状・画像のデータを収集して、手術後に神経症状・生活自立度が改善したか、合併症が起らなかったかなどをデータ解析し、高齢髄膜腫患者さんに対する手術加療のメリットやデメリットを明らかにします。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者の白畑充章と研究実施者の橋尾篤が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

#### 2. 試料・情報の取得方法

髄膜腫に対して手術された患者さんの検査を実施した際に生じた画像、検査データおよび診療記録等を用います。

### 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センター 脳脊髄腫瘍科 白畑充章（研究責任者）

埼玉医科大学国際医療センター 脳脊髄腫瘍科 橋尾篤（研究実施者）

### 4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯俊昭

#### お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 脳脊髄腫瘍科 橋尾篤

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：高齢者髄膜腫の外科治療

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 脳脊髄腫瘍科 白畑充章